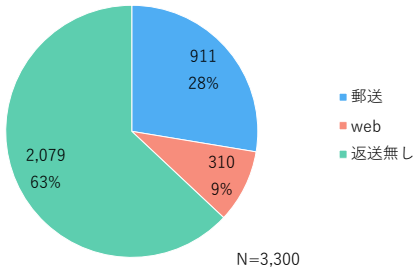
公共交通不便地における
交通手段に関するアンケート結果

1．調査概要／回答者属性

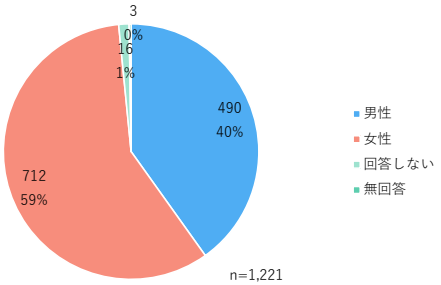
調査概要

項目	内容
調査期間	2024年9月2日（月）～9月17日（月）
調査方法	《調査対象》 3,300人 あいばすが運行する交通不便地域から16歳以上を無作為抽出 《回答方法》 郵送返送もしくはWEBフォームから回答
調査項目	• 居住地域 • 個人属性 • 外出行動(最も多い外出目的/2番目に多い外出目的) • 自家用車の利用状況 • 交通不便地の交通手段等 • 地域の実情に応じた持続可能な交通手段 • 自由記述
回収状況	計1,221票回収【内訳　郵送：911票　WEB：310票】 （回収率37%）

◆郵送：WEB：返送無し比率



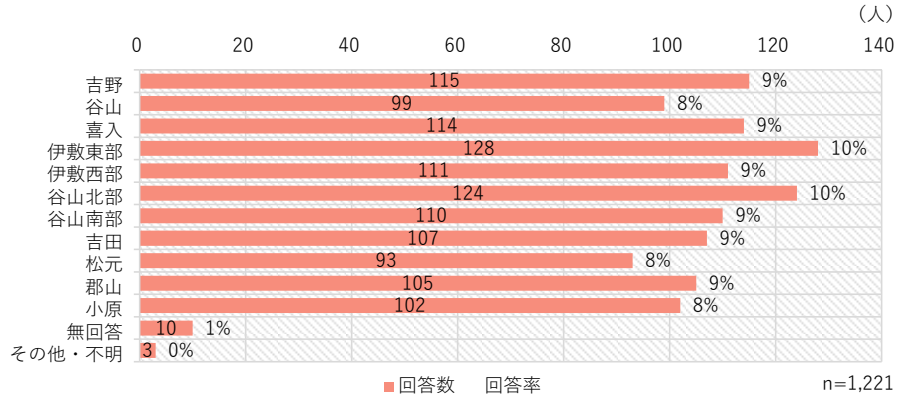
◆性別



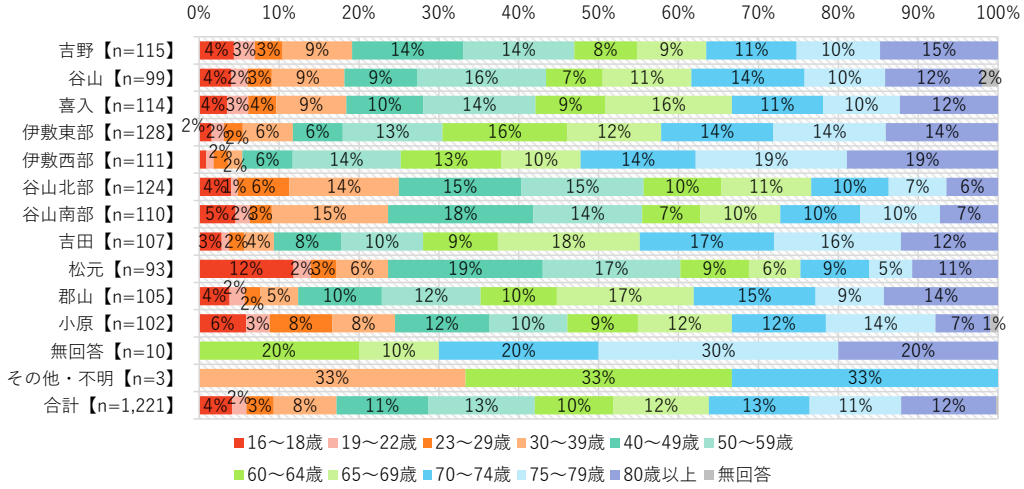
回答者の属性

- 回答者の各居住地の割合は、8～10％の間で概ね均等であった。
- 40歳代以上が8割を占め、50歳代、70歳代前半の回答が最も多かった。

◆居住地



◆年齢



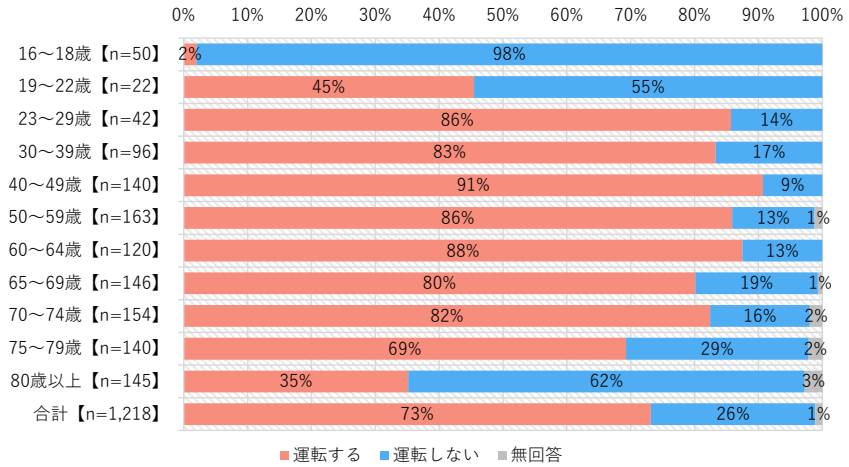
1．調査概要／回答者属性

回答者の属性

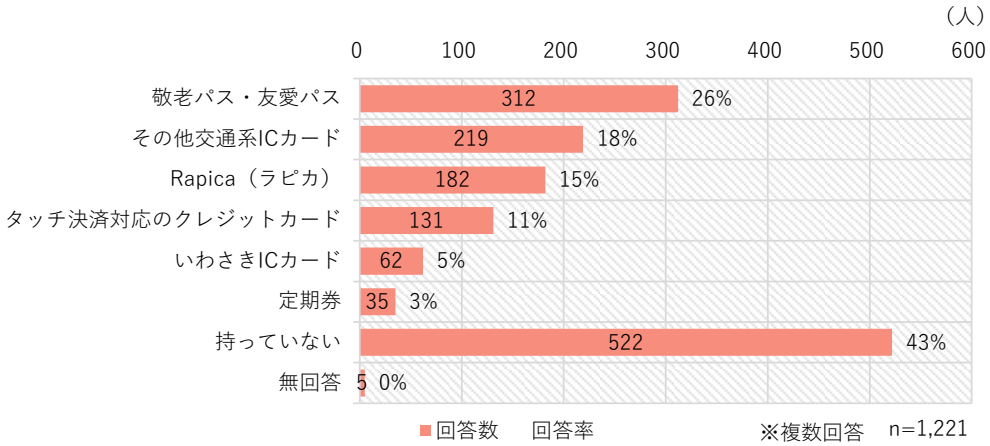
- 70歳代後半であっても約7割が運転を続けている。
- 80歳代であっても約5割はスマホを所持している。

- 4割以上の方はICカードを所持していない。
- 5割以上の方がバス停まで300m以上ある。

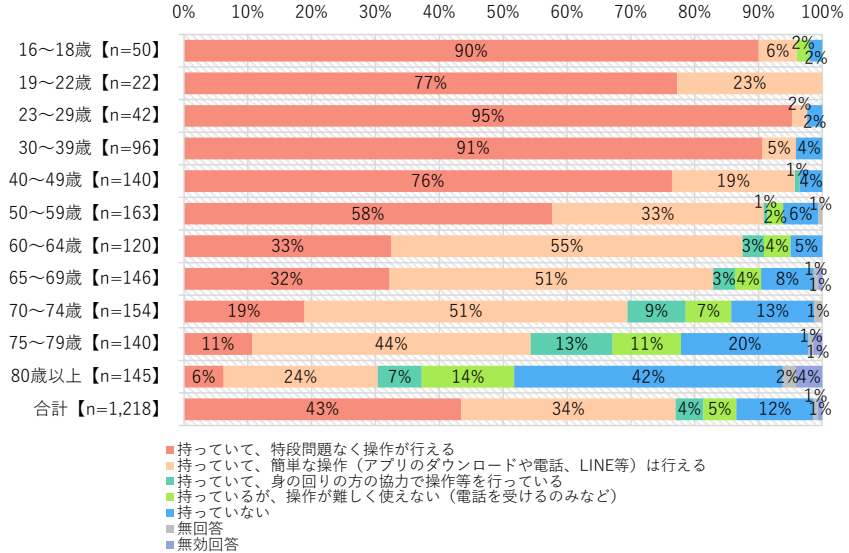
◆日常的な自家用車の運転×年齢



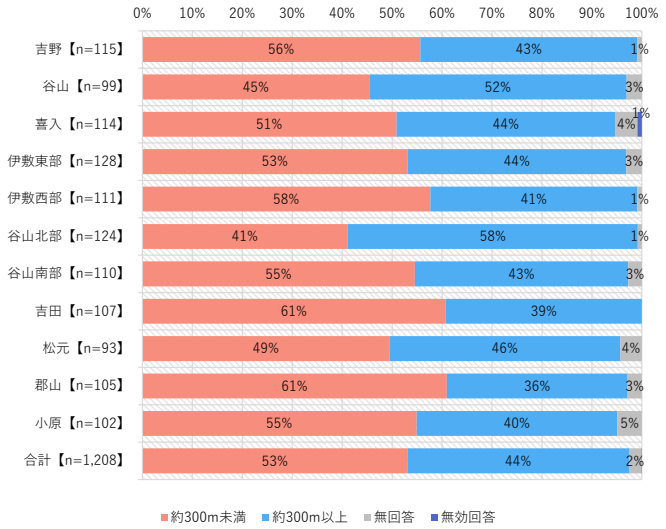
◆所持しているICカードの種類



◆スマホ所持×年齢



◆自宅⇔バス停間距離×お住まいの地域

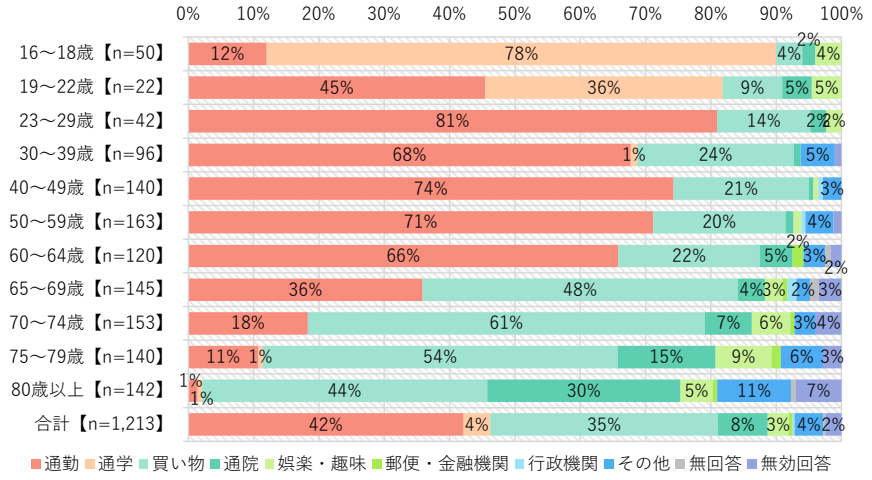


年代ごと最もよく行く場所

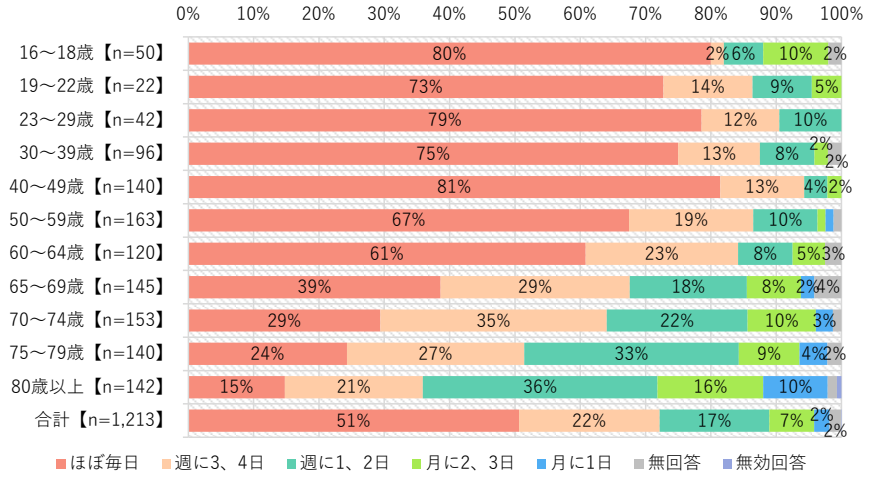
- 70歳代であっても通勤目的の移動が一定数（10%以上）存在する。
- 高齢になるにつれ外出頻度は減少しているが、80歳以上でも週に3、4日以上が4割弱ある。

- 80歳以上では、あいばすの利用の割合が全年代中最も高いが6%であり、家族等の送迎による移動の割合が25%と高い傾向がある。

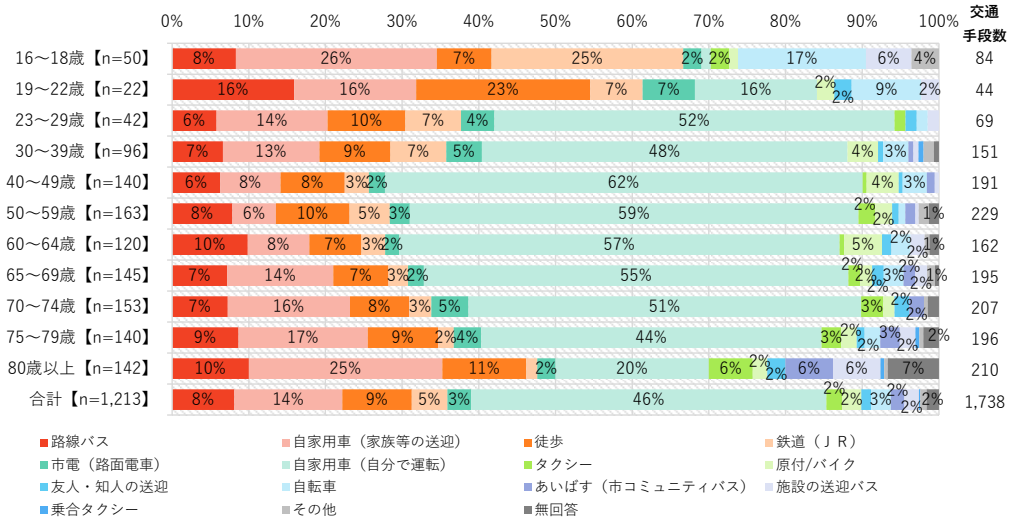
◆移動目的



◆外出頻度



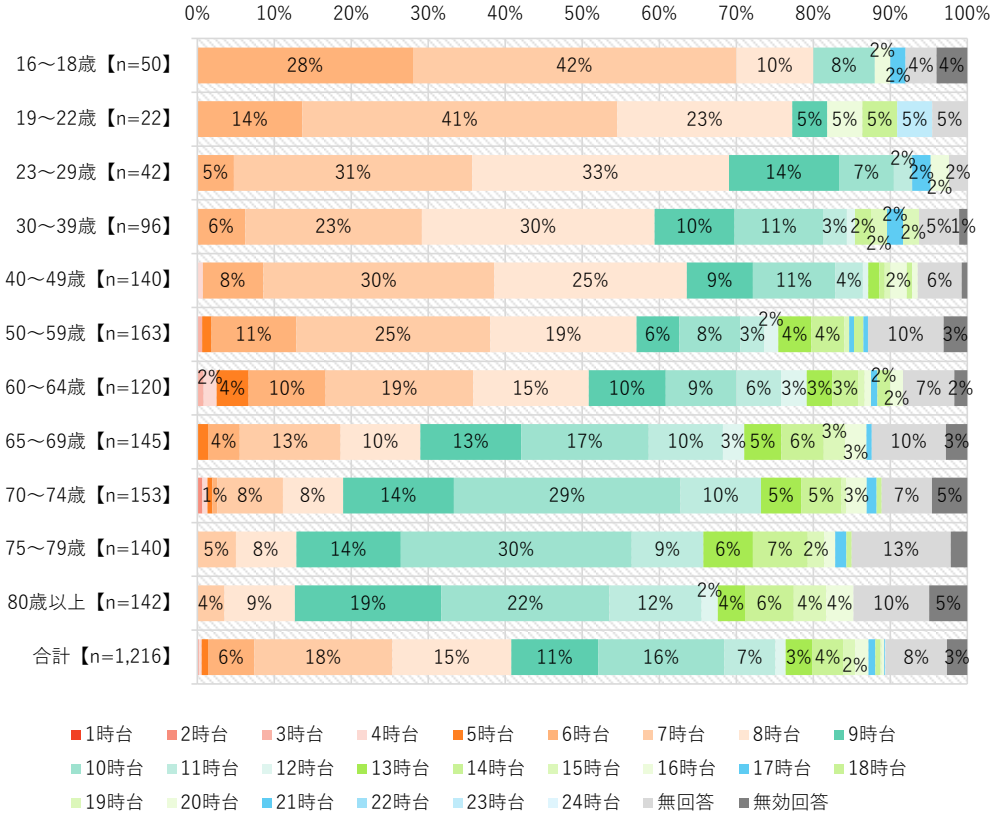
◆外出手段



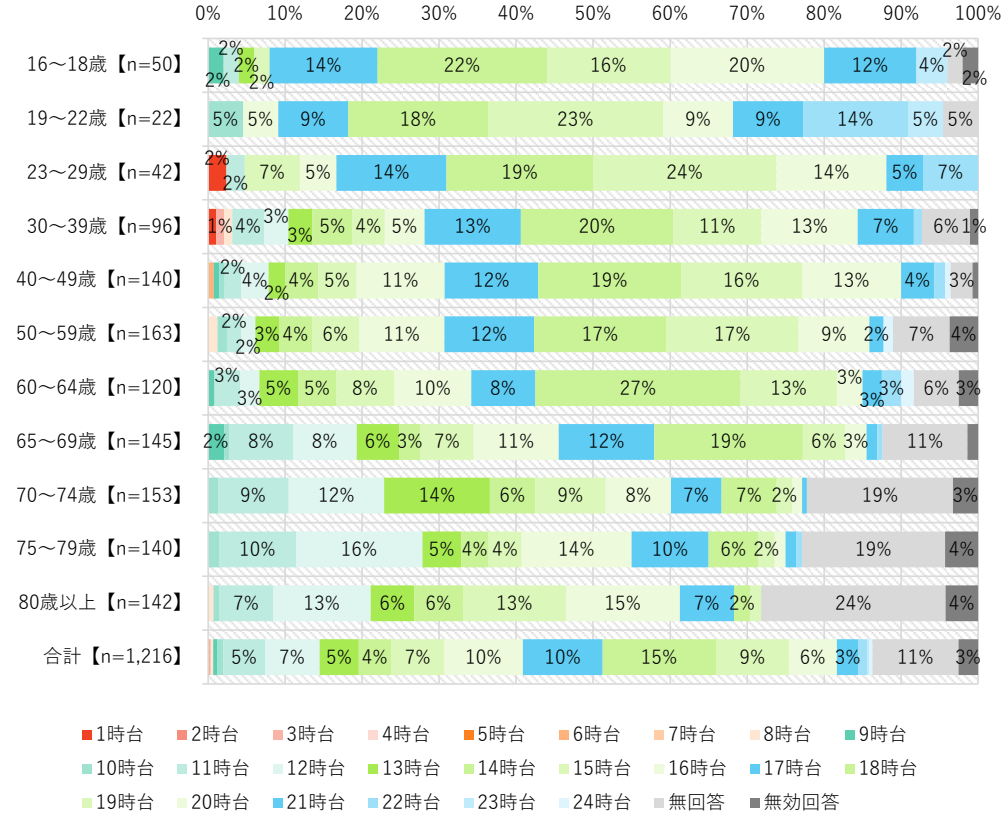
年代ごと最もよく行く場所

- 65歳未満は、朝9時以前に外出する方の割合が過半数を超え、65歳以上は9時～11時台の外出が多い。
- 65歳以上は、17時台以前に帰宅する方の割合が高い。

◆外出時刻



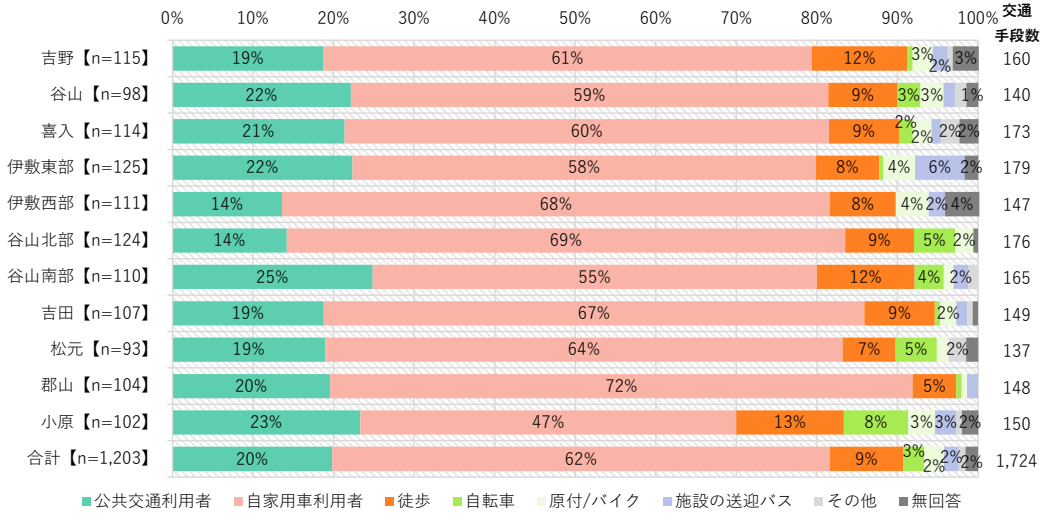
◆帰宅時刻



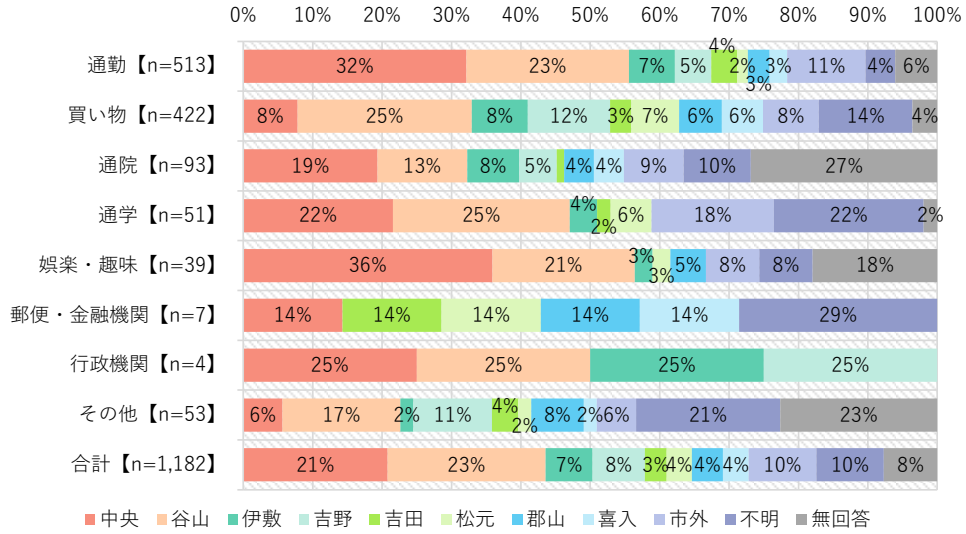
お住まいの地域ごと最もよく行く場所

- 外出手段については、ほとんどの地域で自家用車（自分で運転または家族・友人・知人の送迎）を利用している割合が高いが、公共交通を使って外出している割合が最も高い谷山南部地域でも、25％である。
- 中央、谷山エリアへの外出の割合が高く、特に通勤、娯楽・趣味、通学、行政機関目的の外出は中央、谷山エリアに行く人が過半数を占めている。

◆お住まいの地域ごと外出手段



◆目的別の場所

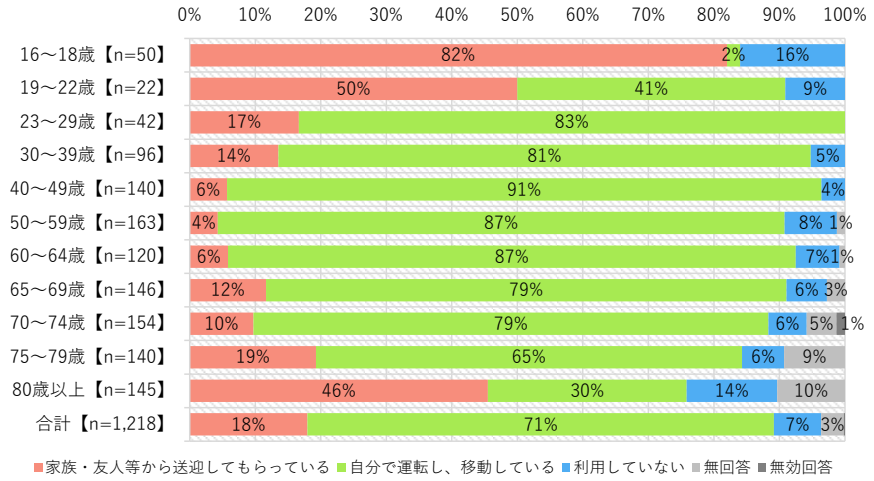


3．自家用車の利用状況

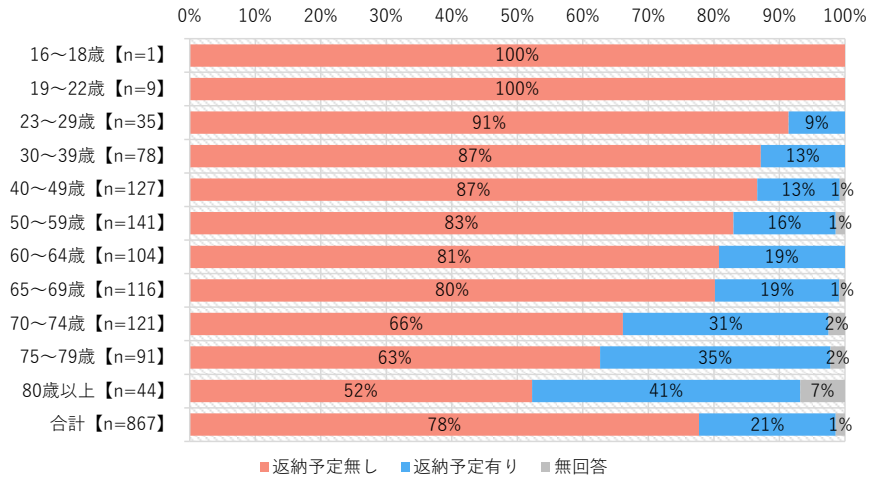
年代ごと自家用車の利用状況

- 80歳以上と22歳未満の年代は送迎の割合が高い。
- 運転している75歳以上の過半数が運転免許返納予定が無い。

◆自家用車利用状況



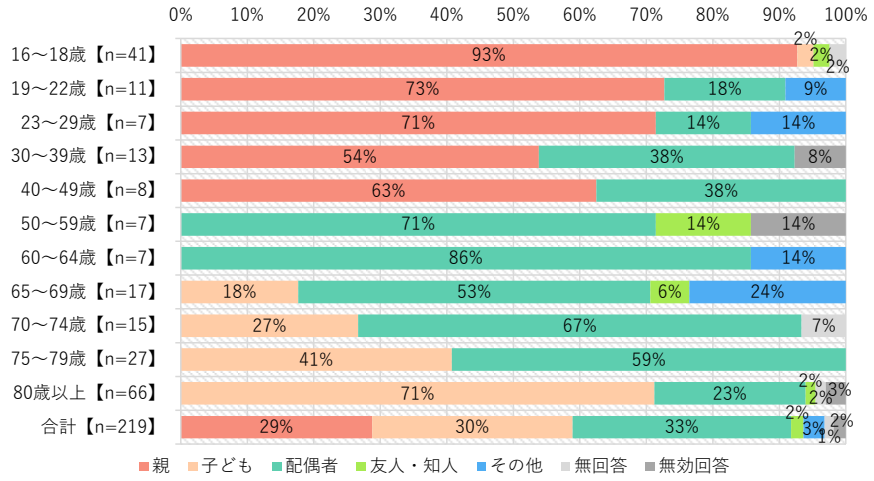
◆免許返納予定



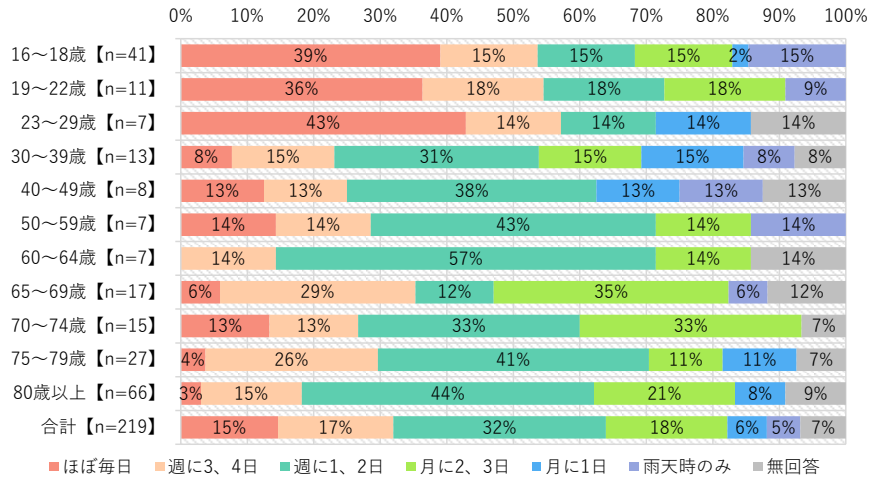
年代ごと送迎状況

- 50歳から79歳は配偶者の送迎を受けている方の割合が高いが、80歳以上は子どもの送迎の割合が高くなる。
- 送迎頻度は週に1、2日以上の方が過半数を占める(65歳～69歳を除く)。

◆送迎してくれる方



◆送迎頻度

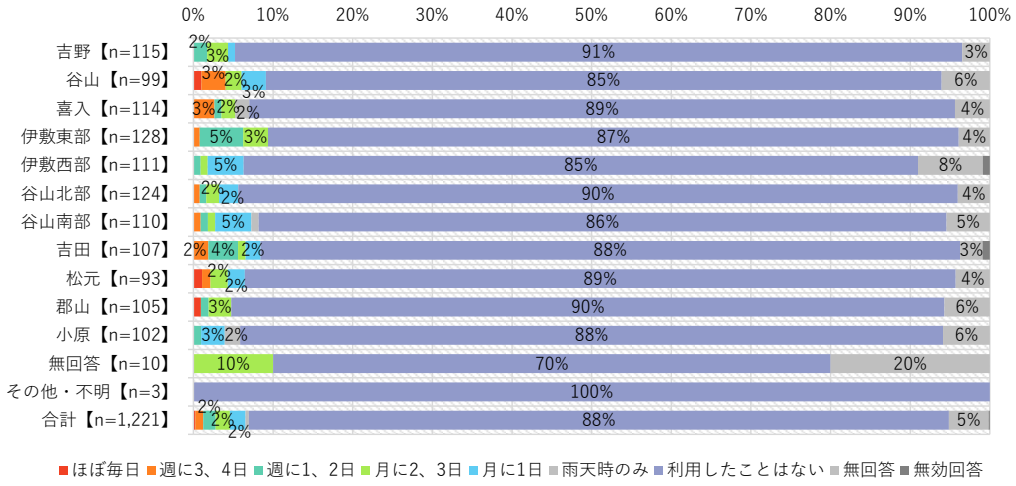


4．コミュニティバス「あいばす」について

お住まいの地域ごとのあいばすの利用状況

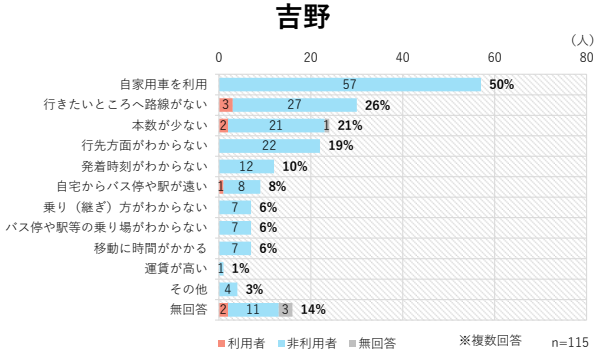
- 伊敷東部地域の利用頻度が最も高いが1割程度であり、全地域で利用したことが無いと回答した人がほとんどであった。

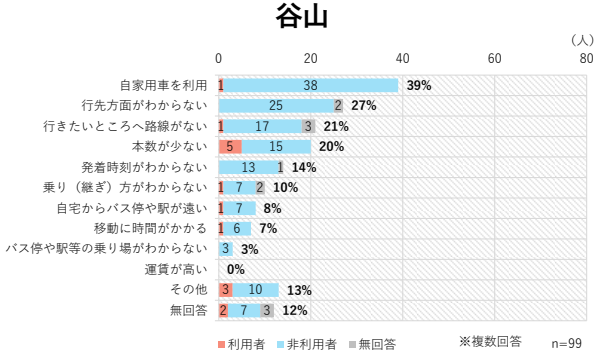
◆利用頻度

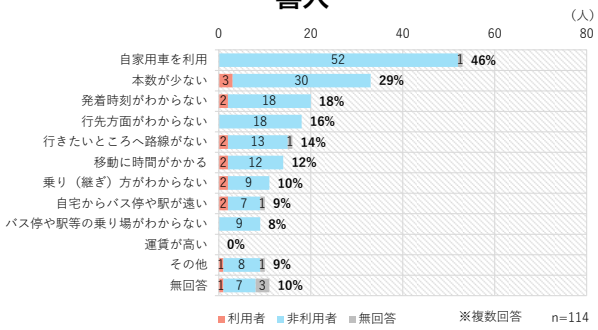


- 全体では自家用車を利用するため利用しないと回答した方が半数を占めた。
- 公共交通利用者の不満点は「本数が少ない」が最も多かった。

◆不満点・利用しない理由（最大3つまでの複数選択）



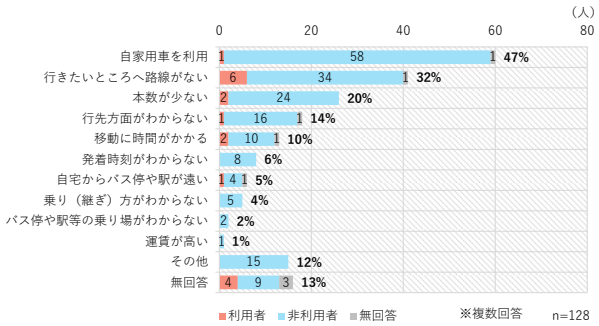




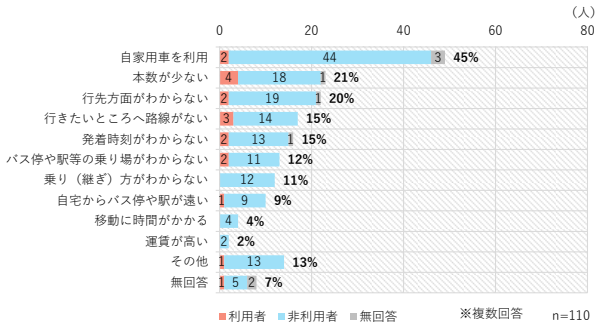
お住まいの地域ごとのあいばすの利用状況

◆不満点・利用しない理由（最大3つまでの複数選択）

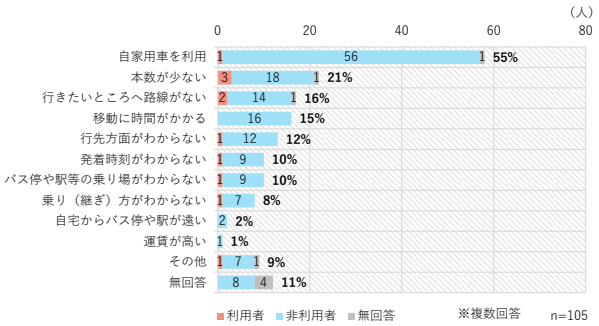
伊敷東部



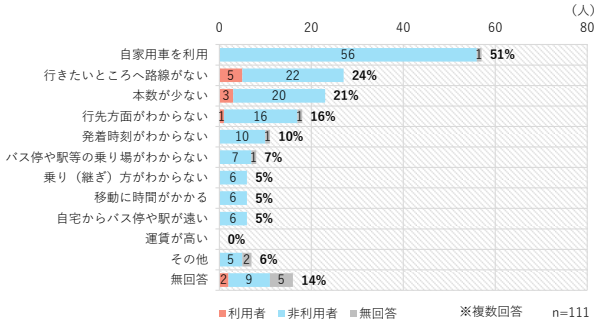
谷山南部



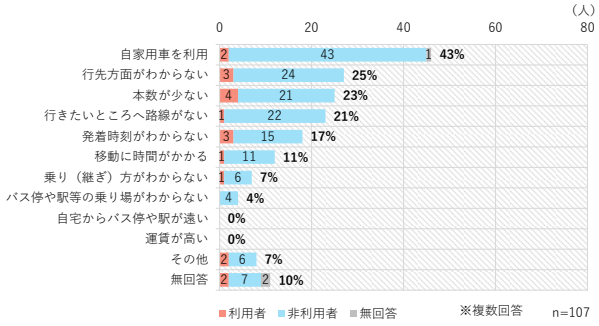
郡山



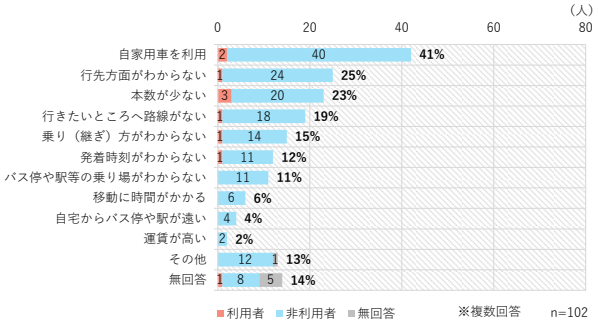
伊敷西部



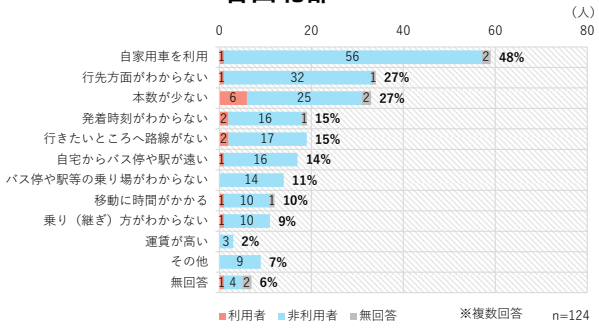
吉田



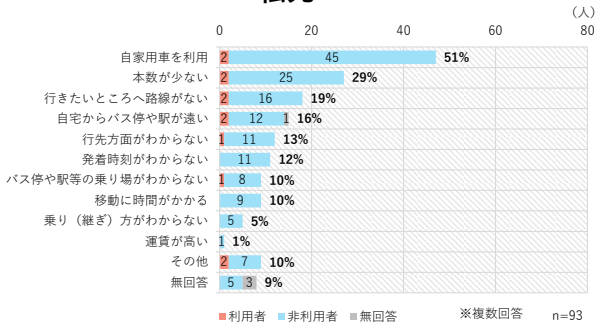
小原



谷山北部



松元

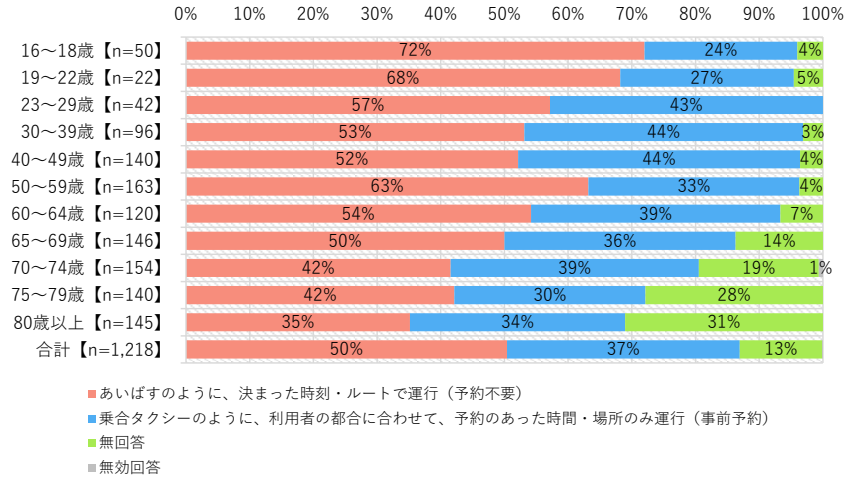


4．地域の実情に応じた持続可能な交通手段について

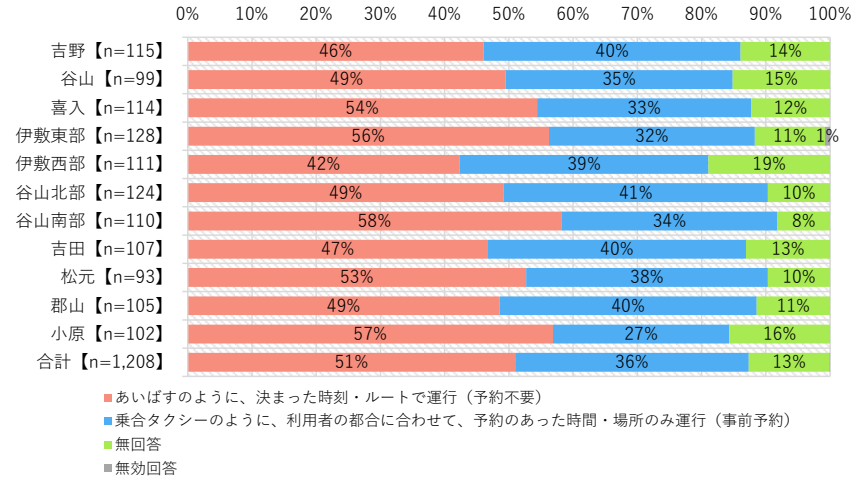
定時定路線と予約制の利用意向

- 年代別では、無回答を除くと全世代で定時定路線を希望する人が過半数となっている。
- 全ての地域で定時定路線の希望が多い傾向にある。

◆×年齢

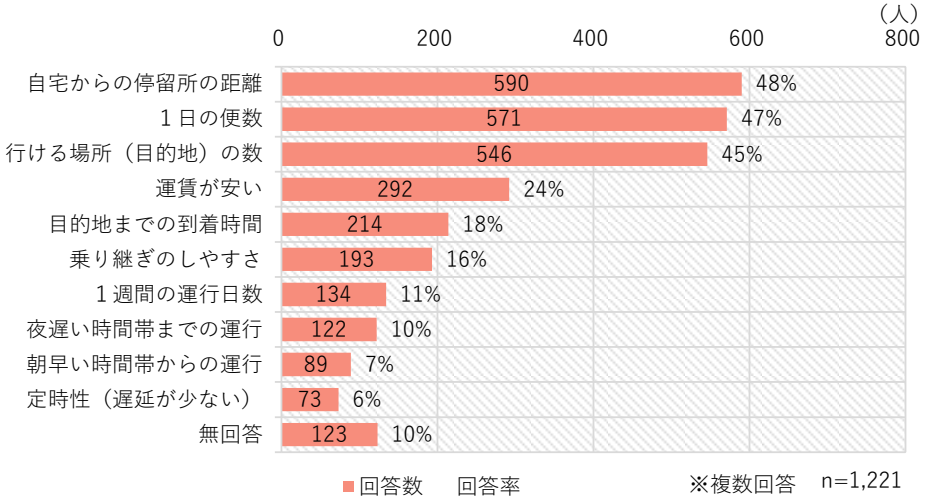


◆×地域



交通手段として重視すること

- 交通手段として重視することは、「自宅から停留所の距離」、「1日の便数」、「行ける場所の数」の回答が多くそれぞれ5割程度を占めた。



5．公共交通に関する意見・要望・アイデア抜粋（1/3）

地域	意見分類				意見内容
	運行充実	情報提供	ライドシェア	その他	
吉野				●	公共交通が、昔のように乗客が多い乗り物であってほしい。通勤者の、公共交通利用の促進、マイカー通勤を極力へらす工夫が必要。通勤者への大きな補助。
	●				鹿児島市が市営タクシー会社を運営することは難しいのでしょうか。年間コスト（あいバスと比較）や、人員の確保など、課題はありますが。
谷山		●			あいばすの時刻表、コースが分かれば乗りやすいと思う。市民のひろばには載せられないものでしょうか。
				●	人手不足なのは理解しているが、バスの減便や路線廃止などどんどん不便になっていく。バスの減便のせいでバス通勤ができなくなり、仕事を辞めざるをえなくなった（身内が）。鹿児島の公共交通機関には腹立たしい気持ちしかない。
喜入		●			あいばすの時刻、ルート等をバスや鉄道の時刻表のようなものを各家庭に配布してほしい。
		●			バス会社が複数社あり、時刻表や行き先が一つのサイトでわかるようなホームページがあれば助かる。 渋滞が慢性化しているため、時刻通りに来ないため信用できない。 まず、渋滞の慢性化の解消に注力して欲しい。
	●				朝や夕に気軽に利用できるような便数を増やしていただけると利用できると思います。必要な時に利用できる乗り合いタクシーもたくさんの方が利用できるように改善してほしい。
伊敷東部	●				あいバスのような小さいバスを住宅の細い道路を走ってほしい 事前予約ができればありがたいです
		●			ペーパーレスの時代ですが、町内会の回覧板で、時刻表の配布があれば（「どこ行き～」）車があっても利用する気になる。（体調次第とガソリン高騰）
	●				市街地から離れると公共交通手段が少なく、日常生活も困難な状態です。過疎化が進む中、本数を増やしても利用者が増えるのは難しいので、地域特性に合ったシステムの導入を願います。乗り合いタクシーもすごくいいと思います。予約もネットでできれば是非利用してみたいです。
	●				中高生の通学が大変である。通学時間帯のバスが無い為、送り迎えになる。親が送り迎えをすることにより、バス利用が減る。あいばすを利用する場合、買い物時間が少ない、1日2便くらい、買い物時間を1時間くらいとれる便が欲しい。
伊敷西部	●				現在、自家用車を自分で運転し、様々なところへ移動できているが、今後運転することができなくなった時の不安がある。実際、高齢の親等の通院や買い物等、子どもがその役割を担っている家庭もある。近年バス等の減便があり、移動に不安を持つ方も少なくない。きめ細やかなバス等の運営があれば良いが、必要な時に使える乗合タクシーなども良いのではないかと思われる。

5．公共交通に関する意見・要望・アイデア抜粋（2/3）

地域	意見分類				意見内容
	運行充実	情報提供	ライドシェア	その他	
谷山北部		●			あいばすが運用しているのは、わかりますが、どのルートを走っているのかわかりません。ルートの案内をさらに必要ではないでしょうか？
	●				バスとは別で、あいばすより小さいバンみたいサイズのバス？を採用して、バス停じゃなくても予約してれば誰でもどこでも乗れるようにして、範囲内ならどこでも降りれるようなサービスが出来たら利用したい。バスより料金は安いけど、タクシーよりはお手軽で乗れますよ～的な感じで。それなら大型免許はいらなくなるから運転手も増えるのではないでしょうか？
	●				バス一本で目的地まで行くというよりは最寄りの駅までの移動手段として利用したい。夜遅くまでの便は必要と感じていないので朝から夕方。JR、市電、駅まで行ける路線の便数を増してほしい。
			●		安全面が優先ではありますが、自家用車のライドシェア。
			●		電話使用で利用できるライドシェアの実現
谷山南部				●	JR指宿枕崎線を利用した際、電車入口に段差があり、ベビーカーのまま乗り降りできず大変だった。(畳んだベビーカーを片手で持ち上げ、片手に子どもを担ぎ段差を降りました..)それ以降電車は使わず少し不便ですがバスを利用しています。 ユニバーサルなデザインに変わることを期待しています。
		●			あいばす等のサービス内容をもっとわかりやすく、県や市のホームページに載せてほしい。停まる所やルートなど。
吉田		●			自分で運転できなくなったら「あいばす」を利用したいと思います。今でも「あいばす」がどんな所(コース)を走るのか良くわかっていないので、時間のある時、友達と一緒に町内巡りをしたいと思います。そんなイベントがあっても面白いと思います。彼岸花の咲くコース、桜、コスモスを見るコースとか。(利用促進のためのイベント)
松元		●			あいバスを利用したことはないが、不便地で運転できない人たちにとって大切な交通手段なのでぜひ存続、充実をお願いします。高齢者や子どもが参加しやすいイベントを開催してほしい。夏に開催のポイントラリーは良かったと思うが4枚1口だったので参加に至らなかった。2枚1口くらいにハードルを下げてもらえたら参加しやすい。またそのようなイベントを開催し周知してほしい。
	●				バス利用になると買い物の品物を持って乗り降りが難しいので、乗合タクシーのようなものが望ましい。
	●				市内の（※）主要地を「ハブバス停」として、そこから各方面にバスで行動できる様にする。※中心部ではなく、市内の周辺地を想定
	●				娘がJRバスを利用しているが、バスの本数が減ってしまい、駅よりもバス停が近いがJRばかりになった。乗る人が減って減便となっていく。自分も車を運転できなくなった時は不便になるに違いないから、引っ越しを考えている。こうして地方は過疎化が進んでいくのかもしれない。乗り合いタクシーは良い考えだと思う。

5．公共交通に関する意見・要望・アイデア抜粋（3/3）

地域	意見分類				意見内容
	運行充実	情報提供	ライドシェア	その他	
郡山			●		バス停まで歩くのが困難。ライドシェアが出来れば、これを利用すると思います。
	●				現時点でも、バスの便数が減っており、時刻表みると、今後子供の通学に不便さを感じるのだろうなと思う。例えば時間帯では、数分違いでバスがあり、後者は乗車する人が少ないなど今までに目にしたことがある。各業者の都合とは思うが、業者同士話し合いしていただき、均等にお互いが利益を出せるよう時間を30分単位でもいいのでずらして、運行していただけると嬉しいです。時間帯でバスがあったり無かったりしているので！
	●				高齢になると近くのバス停まで歩くのも大変になりそうです。タクシーを使うのも良いが、乗合タクシーに買い物の補助をしてくださる方が付き添ってくだされば助かると思います。
			●		市内まで（バス停まで）ライドシェア自家用自動車の導入をされたら交通弱者は家から家までのライドシェアで
小原		●			『あいばす』が近所の何処に停まるのか、何処に行くのか、一日に何本走っているのか、ルートや時間帯がよく分かりません。『あいばす』や市電市バスの路線・運賃・時刻表等を配るなどしていただけると助かります。 今のご時世、スマホなどで簡単に調べられるのですが、紙媒体等で手元にあるとありがたいのです。 費用や手間が掛かるとは思うのですが、ご一考をお願いいたします。
地域無回答	●				JRといわさきバスが同じ時刻に（だいたい）来る。時間をずらせたら…